

# 川内沢ダム通信 第6号

平成31年3月27日  
発行 宮城県河川課

## 市道笠島川内線の合併施行に関する協定、 水没する農道及び山林の運営管理のための林道に関する協定 を締結しました

川内沢ダム建設事業に伴い市道笠島川内線の一部が水没することから、道路管理者である名取市と協定を締結しました（平成30年1月11日付）。道路幅員を5mから7mに拡幅する計画となっております。付替市道工事は2023年度完成を予定しております。

また、事業に伴い水没する農道及び機能補償林道を整備するにあたり、農道、林道管理者である名取市と協定を締結しました（平成31年2月26日付）。農道、林道工事は2025年度完成を予定しております。

### <市道笠島川内線付替道路（付替え後；市道道祖神愛島台線となります）>

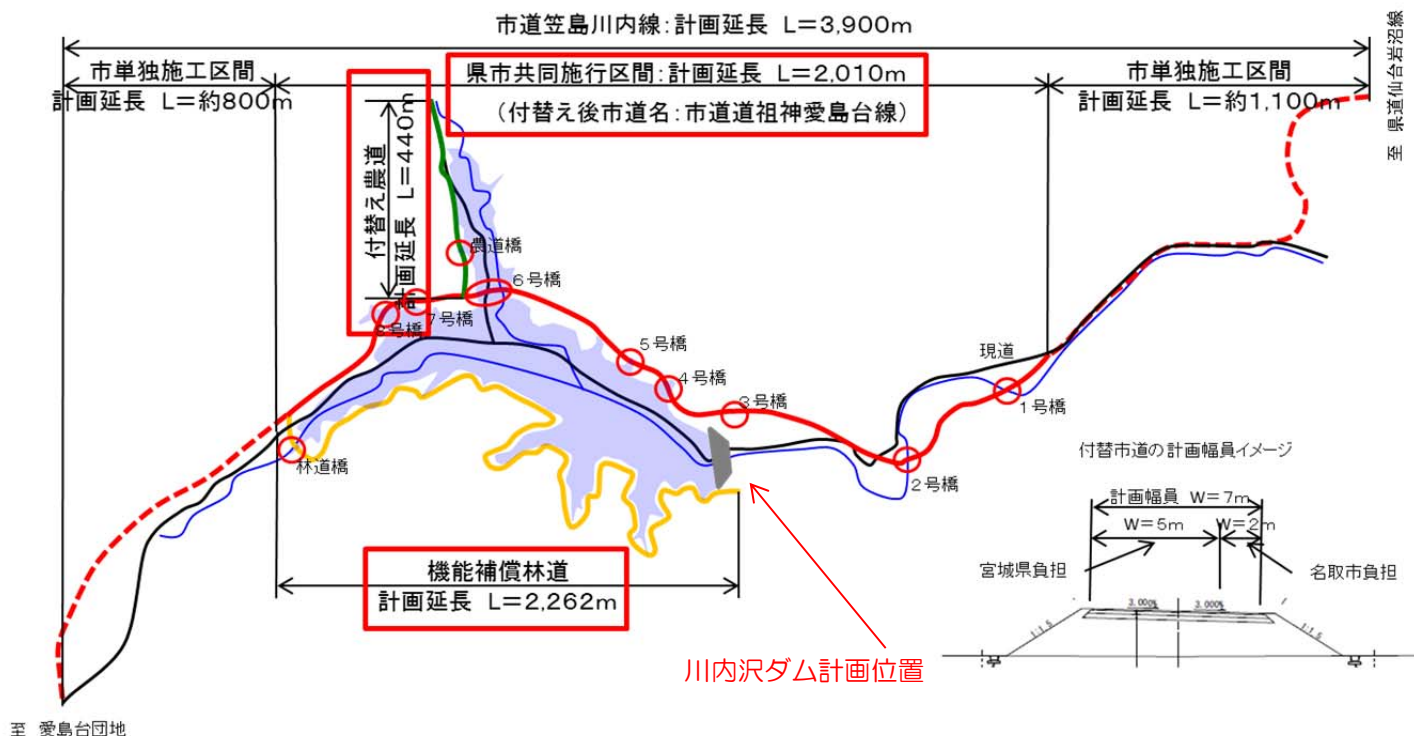
計画概要：総延長 L=2,010m  
道路幅員 W=7m（現道幅員5m）  
橋梁 N=8橋（現橋2橋）

### <付替え農道（愛島121号線）>

計画概要：総延長 L=440m  
道路幅員 W=3m（現道幅員3m）  
橋梁 N=1橋

### <機能補償林道>

計画概要：総延長 L=2,262m  
道路幅員 W=3m  
橋梁 N=1橋



## 用地・補償を進めています

川内沢ダム建設事業に必要な土地の取得または土地の使用に伴う損失補償を公平かつ適正に実施するため「川内沢ダム建設事業に係る損失補償基準」を策定いたしました。平成30年9～10月の用地説明会にて「川内沢ダム建設事業に係る損失補償基準」について説明し、現在、個別交渉を進めております。

## 代替候補地の検討を進めています

川内沢ダム建設事業により家屋移転が必要な方々を対象に、代替候補地についての造成計画・工事内容等について意見交換を行いながら、検討しております。

## 本体実施設計・施工計画及び施工設備実施設計の検討を進めています

平成31年度予定の基本設計会議（実施設計）に向けて、本年度からダム本体実施設計、施工計画及び施工設備実施設計を検討しております。基本設計会議（実施設計）とは、補助ダム建設事業の手続きのひとつであり、国土交通省本省で行います。同会議では、ダム等の安全性を確保し、合理的な施工を行うため、設計・施工に係る重要な技術的課題について確認を行います。

## 説明会の開催状況について

関係する地権者及び住民の皆様に対し、随時説明会を開催しております。今年度は7月に付替道路関係の事業説明会を開催するとともに、下記の通り用地説明会を開催し、補償単価、土地評価額の算定方法などについて、貴重なご意見をいただきました。引続き関係者のご理解・ご協力をいただきながら、付替市道工事着手に向けて用地取得の継続及び代替地造成計画・工事を進めながら、2025年度のダム本体完成を目指します。

### 説明会の開催状況

- ・平成30年 9月21日 川内沢ダム建設事業に係る用地説明会 会場：愛島公民館
- ・平成30年 10月11日 川内沢ダム建設事業に係る第2回用地説明会 会場：愛島公民館



川内沢ダム建設事業に係る用地説明会



川内沢ダム建設事業に係る第2回用地説明会



宮城県土木部

●内容についてお気付きの点やご質問等は下記までご連絡ください。

宮城県土木部 河川課 ダム整備班

TEL 022-211-3182 FAX 022-211-3196

E-mail kasen-da@pref.miyagi.lg.jp

宮城県土木部 仙台地方ダム総合事務所 管理第二班

TEL 022-372-2927 FAX 022-375-7535

E-mail sddamk2@pref.miyagi.lg.jp